

**平成30年度進行管理・評価シート**  
**尾道市歴史的風致維持向上計画（平成24年6月6日認定）**  
（最終変更平成30年8月13日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画	.....	2
2 景観地区	.....	3
3 屋外広告物の制限(尾道市屋外広告物条例)	.....	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 常称寺建造物保存修理事業	.....	5
2 浄土寺・西國寺建造物防災設備整備事業	.....	6
3 まちなみ形成事業	.....	7
4 歴史的風致形成建造物修景・修復事業	.....	8
5 指定文化財管理事業	.....	9
6 文化財防災啓発事業	.....	10
7 道路美装化事業	.....	11
8 道路美装化事業(瀬戸田地区)	.....	12
9 道路美装化事業(幹線街路)	.....	13
10 沿道建造物等修景事業	.....	14
11 老朽危険建物除却促進事業	.....	15
12 空き家再生促進事業	.....	16
13 電柱類等景観改善事業	.....	17
14 軽車両等道路事業	.....	18
15 夜間景観形成事業	.....	19
16 データ収集分析調査事業	.....	20
17 多国語音声設備設置事業	.....	21
18 地域観光担い手育成事業	.....	22
19 歩行者安全対策事業	.....	23
20 道路水路修繕事業	.....	24
21 駐輪場整備事業	.....	25
22 文化財調査・研究事業	.....	26
23 郷土芸能祭開催事業	.....	27
24 史跡等総合活用支援推進事業	.....	28
25 文化財愛護少年団事業	.....	29
26 文化財講座開催事業	.....	30
27 民俗芸能等支援事業	.....	31
28 尾道歴史文化読本作成事業	.....	32
29 文化財めぐり事業	.....	33
30 近代化遺産活用事業	.....	34
31 文化施設ネットワーク事業	.....	35
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査に関する事項	.....	36
2 文化財の修理に関する事項	.....	37
3 文化財の防災に関する事項	.....	38
4 文化財の継承の仕組みに関する事項	.....	39
5 文化財の活用に関する事項	.....	40
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 3ヶ所で美装化工事 荒神堂通りは天然石舗装で	.....	41
⑥その他(様式1-6)		
1 他都市等の行政視察、調査等の受け入れに対する取組	.....	42
2 観光客(総数・外国人)数の推移	.....	43

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	.....	44
-------------------------	-------	----

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
計画の推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 ○計画策定段階の庁内検討会を継承・発展させた関係課による推進体制を構築  
 ○文化財部門の文化振興課とまちづくり推進課のより密度を高めた連携・調整等  
 ○国・県等関係機関との協議と適切な支援を得るよう努める

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

庁内体制では、まちづくり推進課が行うハード整備(道路美装化事業等)の実施にあたって、庁内の道路管理部局、商工及び観光部局と日常的に協議を実施し事業の円滑な進捗に努めた。  
 尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会は、令和元年5月23日に開催し、歴まち計画の変更及び平成30年度の進行管理・評価並びに計画期間の中間年度に実施する中間評価について審議を行った。  
 また、引き続き、歴史的風致活用国際観光支援事業を活用し外国人旅行者の受入体制整備をすすめるため、「尾道市歴史文化まちづくり推進協議会」において尾道市歴史的風致活用国際観光整備計画の変更を検討する。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催  
 ・令和元年5月23日開催 議題『計画の軽微変更(案)及び平成30年度進捗評価・中間評価(案)について』

歴史的風致維持向上計画推進協議会(令和元年5月23日)



歴史文化まちづくり推進協議会(令和元年5月24日)



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
景観計画	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 尾道市の景観施策については、平成16年に施行された景観法に基づき、積極的に尾道の景観の保全と創造に取り組んできている。今後とも4点セット(景観条例、景観計画、景観地区に関する都市計画、屋外広告物条例)を基本に景観重要建造物・景観重要樹木の制度の導入等を検討しながら、歴史的風致の維持及び向上の面からも、景観施策に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成17年8月1日景観行政団体となり、平成19年4月1日景観条例を施行し、併せて景観計画を旧尾道市・向島町を対象として定め、さらに平成22年4月1日に尾道市全域に拡大して定めている。景観計画においては、景観計画区域内で建築物の新築等の行為を行う場合は、規模等により、あらかじめ市長に届出が必要とするなど、「心に残る尾道の景観」の形成を図ることとしており、引き続き、冊子等により制度への理解を求め周知に努めた。  
 ◇平成30年度 届出件数65件

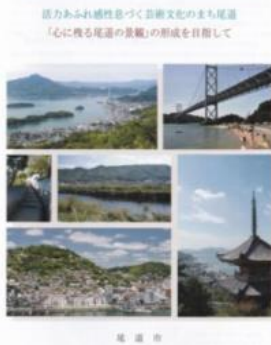
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

景観計画区域内	
平成年度	届出件数
24	72件
25	64件
26	54件
27	50件
28	88件
29	69件
30	65件

景観計画等の制度の概要をまとめた冊子

尾道の景観施策のあらまし

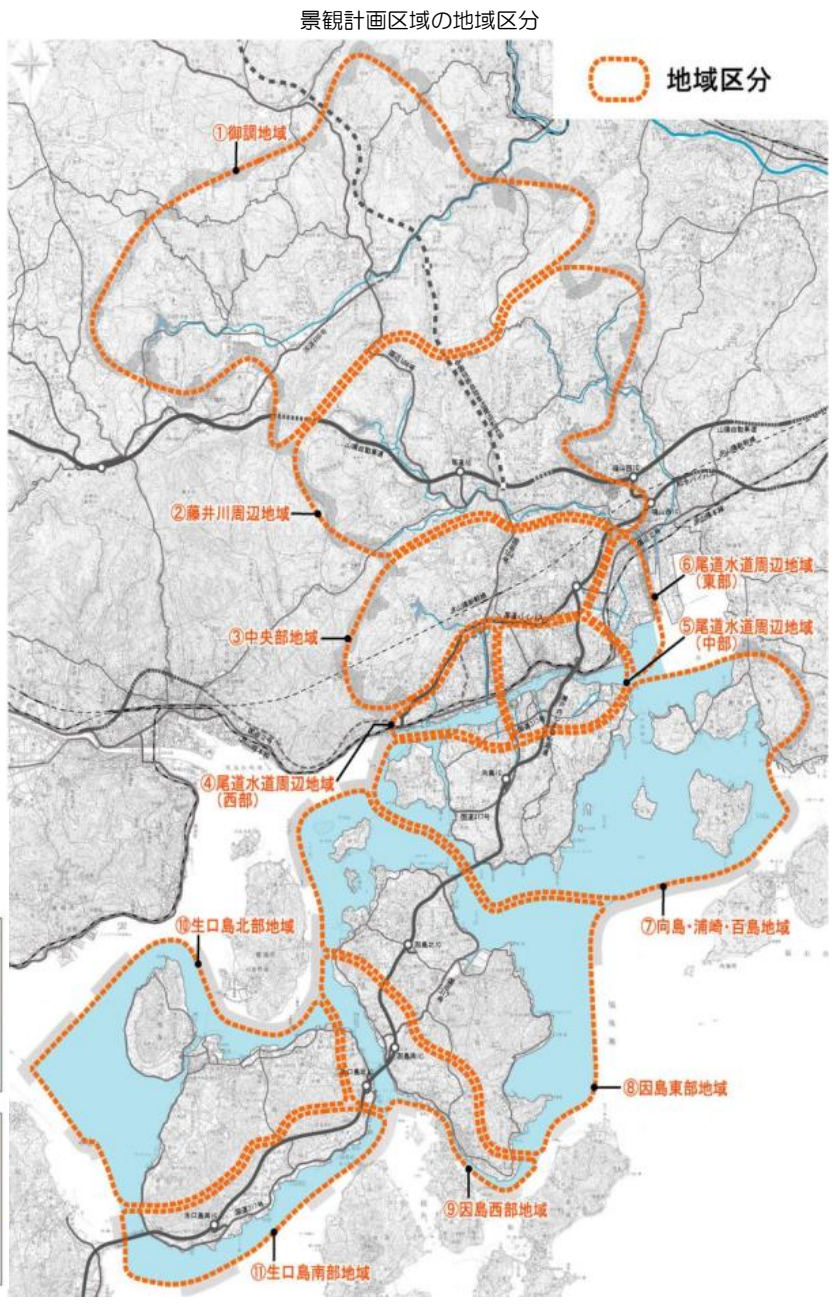


景観配慮事例の紹介(市ホームページ)

尾道市では、良好な景観を形成するために、平成27年4月から市全域を景観計画区域とし、建築物の新築や改築、外観の変更等を行うときの景観配慮等について制約を定めています。また、平成19年施行の「屋外広告物条例」により、屋外広告物の設置場所や色数等についての制約も定めています。今年度、本規模な景観の調査や改修が行われ、中でも特に景観に配慮していただいた事例をご紹介します。

【ご報告】  
 株式会社ハローエス 尾道駅前ビル内7F(裏7階)  
 【ご報告年】 平成28年3月  
 【景観配慮事例】 屋外広告物  
 景観計画区域内ではあるが、屋外広告物が中央市街の景観から眺望できる位置にあたり、景観に配慮し、景観に配慮した新築を計画していたこととし、  
 【撮影写真】  
 場所：尾道市河原町 553-47  
 ハローエスビル

【ご報告】  
 株式会社コープエス 尾道駅前ビル内7F(裏7階)  
 【ご報告年】 平成28年3月  
 【景観配慮事例】 景観計画の新築計画  
 本規模な景観調査は景観に与える影響が大きいので、外観の色はコープエスカラーであるが、景観の観点から外観の色を調整する。景観に配慮した新築により市街地の景観も向上した。  
 【撮影写真】  
 場所：尾道市河原町 7-13  
 コープエス尾道店



評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度
----	--------	--------

景観地区	現在の状況
	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 景観計画で位置づけた重点地区のうち尾道・向島地区については、都市計画で景観地区を定めている。この地区では、建築物等のデザインや色彩を制限するほか、眺望景観を守るために一致の区域で建築物の高さを制限する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成17年8月1日景観行政団体となり、平成19年4月1日景観法による景観地区を都市計画に定めた。景観地区においては、建築物・工作物の形態意匠を制限し、建築物の新築等について、規模の大小を問わず、市長に認定申請が必要としている。建築物の高さ制限については、15m、21m、24m、27mに区分し、これらの制限値を超える建築物は、建築確認済証が交付されない。制度への理解を得るとともに、随時パトロールを行い冊子等により認定制の周知に努めた。  
 ◇平成30年度 認定件数57件

進捗状況 ※計画年度との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

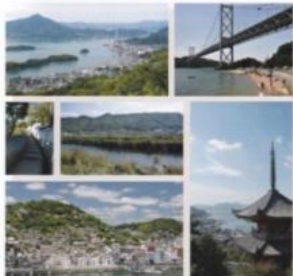
状況を示す写真や資料等

景観地区内	
平成年度	認定件数
24	19件
25	33件
26	64件
27	78件
28	70件
29	63件
30	57件

景観計画等の制度の概要をまとめた冊子

尾道の景観施策のあらまし

活力あふれ感性豊く芸術文化のまち尾道  
 「心に残る尾道の景観」の形成を目指して



景観配慮事例(市ホームページ)

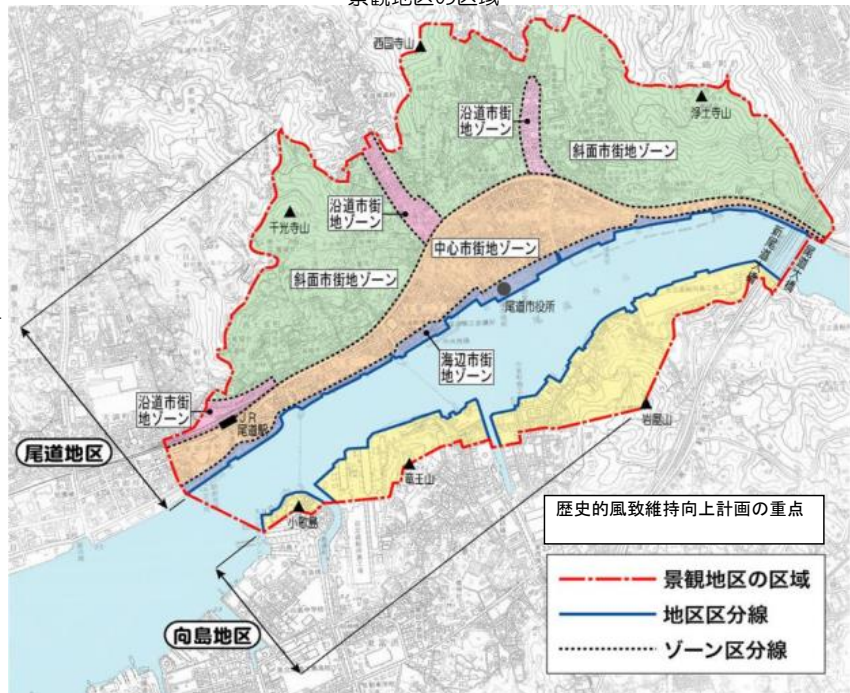
景観配慮事例は、景観に影響を及ぼす建築の一つです。尾道市景観地区内においては、平成19年施行の「尾道市景観条例」により、景観配慮事例の申請が義務づけられて、その後の進捗が確認されています。この地区内において多岐にわたる景観配慮事例が、毎年の間、現状での確認が認められています。建築の際には景観の美観に適合するように留意していただいています。

- 【ごま 大 豊】株式会社ごま大豊様 (広島市景観条例第2-19-3)
- 【尾道市役所】平成29年度
- 【尾道市役所】株式会社N・K・O (広島市景観条例第2-19-3)
- 【尾道市役所】高さが高く景観地区の景観であった高層ビルを撤去した。また、建築物のデザインを刷新してトップをなすことにより、景観の美観を向上させた。
- 【尾道市役所】尾道市景観条例第14回25

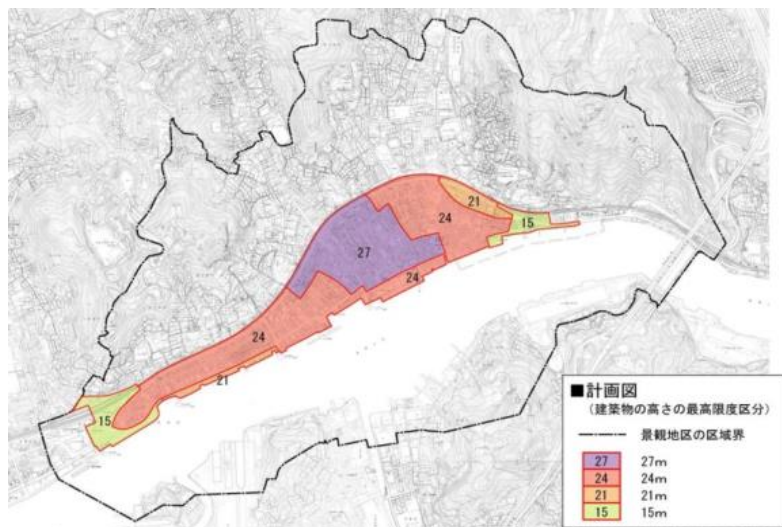


【ごま 大 豊】株式会社ごま大豊様  
 尾道市への景観配慮に際し、市の景観に対する考え、取組みを知る機会があり、建築物の景観配慮がもたらぬ影響を軽減するうえで影響を及ぼすこととなり、必要最小限の景観配慮としました。このことが、景観への理解の促進に繋がるとは思っています。  
 エントランス部分は、地味に感じられたいくつかを改良して取り替えています。景観の配慮に影響を及ぼしていません。

景観地区の区域



高さの最高限度の区分



	評価対象年度	平成30年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
屋外広告物の制限(尾道市屋外広告物条例)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 ①景観計画区域内の制限:周囲の景観との調和や建築物との一体性が確保されるように制限を行っている  
 ②景観地区内の制限:①の制限に加え、「屋上広告物は設置できないものとする」などの制限を行っている

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成17年8月1日景観行政団体となり、平成19年4月1日屋外広告物条例を施行し、必要な規制を定め、良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害の防止に努めている。特に景観地区においては、屋上広告物の禁止や形態意匠の制限を厳しくするなど、地区内の良好な景観(眺望景観及び地域の景観との調和)の保全に取り組んでいる。  
 平成30年度も、重点地区を中心に屋外広告物の巡回を実施し、20件(うち、不適合は2件)に対し是正指導を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

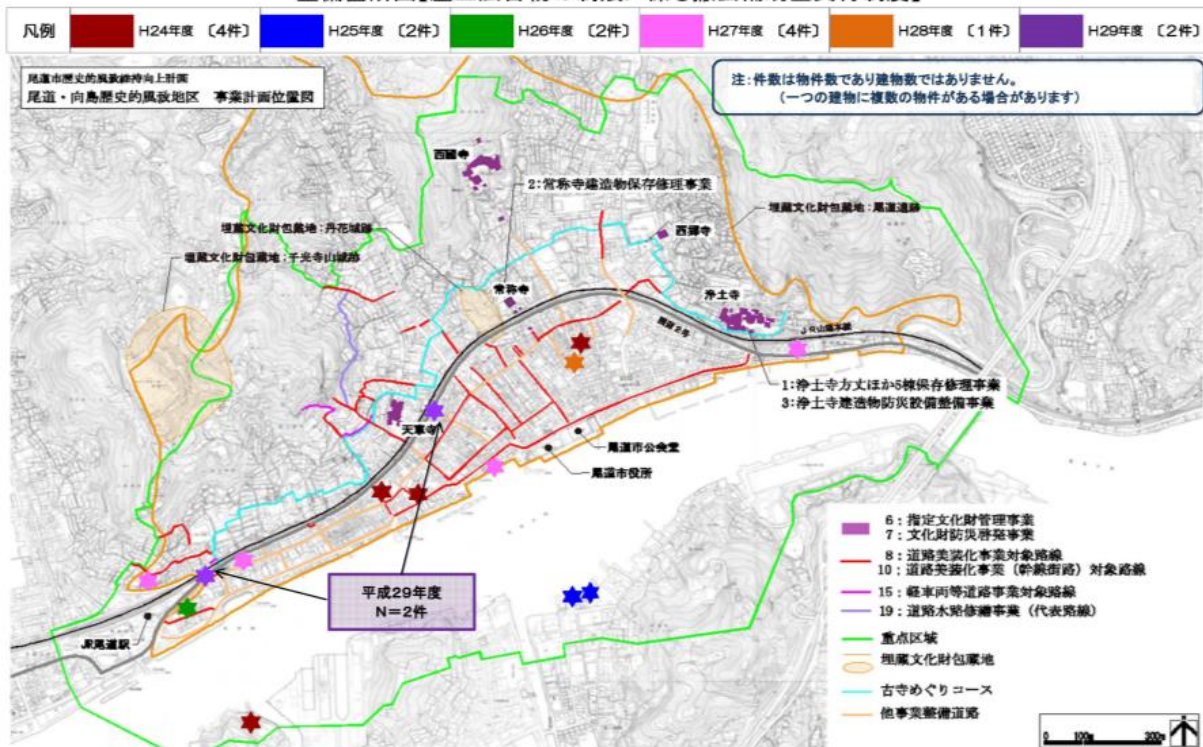
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「尾道市屋上広告物撤去に係る補助金交付制度(平成29年度終了)」による撤去件数

整備箇所【屋上広告物の制限に係る撤去補助金交付制度】



写真は平成29年度撤去事例



整備前



整備後

評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
常称寺建造物保存修理事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和3年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業

計画に記載している内容 老朽化が進んでいる常称寺本堂・観音堂・墓処門の保存修理事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度、保存修理事業を継続して実施し、本堂の解体工事・保管を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

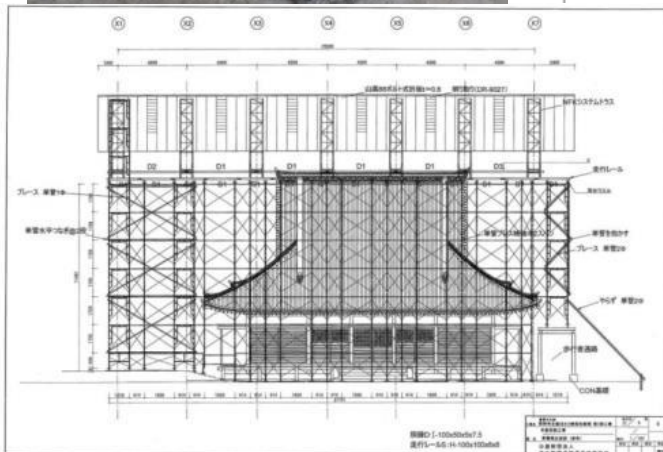
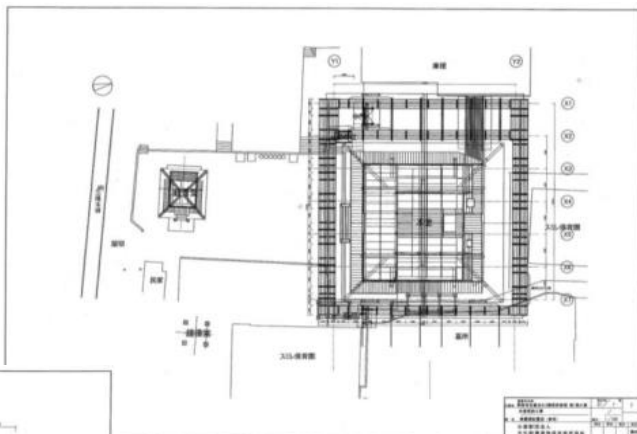
常称寺本堂仮屋根設置工事



常称寺本堂（重要文化財）の解体修理



常称寺本堂（重要文化財）解体修理工事



↑  
 『参考図面』重要文化財  
 常称寺本堂ほか2棟保存修理  
 公益財団法人文化財建造物保存技術協会  
 (尾道市文化振興課提供)

項目	評価対象年度	平成30年度
浄土寺・西國寺建造物防災設備整備事業		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～令和元年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業	
計画に記載している内容	重要文化財建造物への防災設備を整備する	

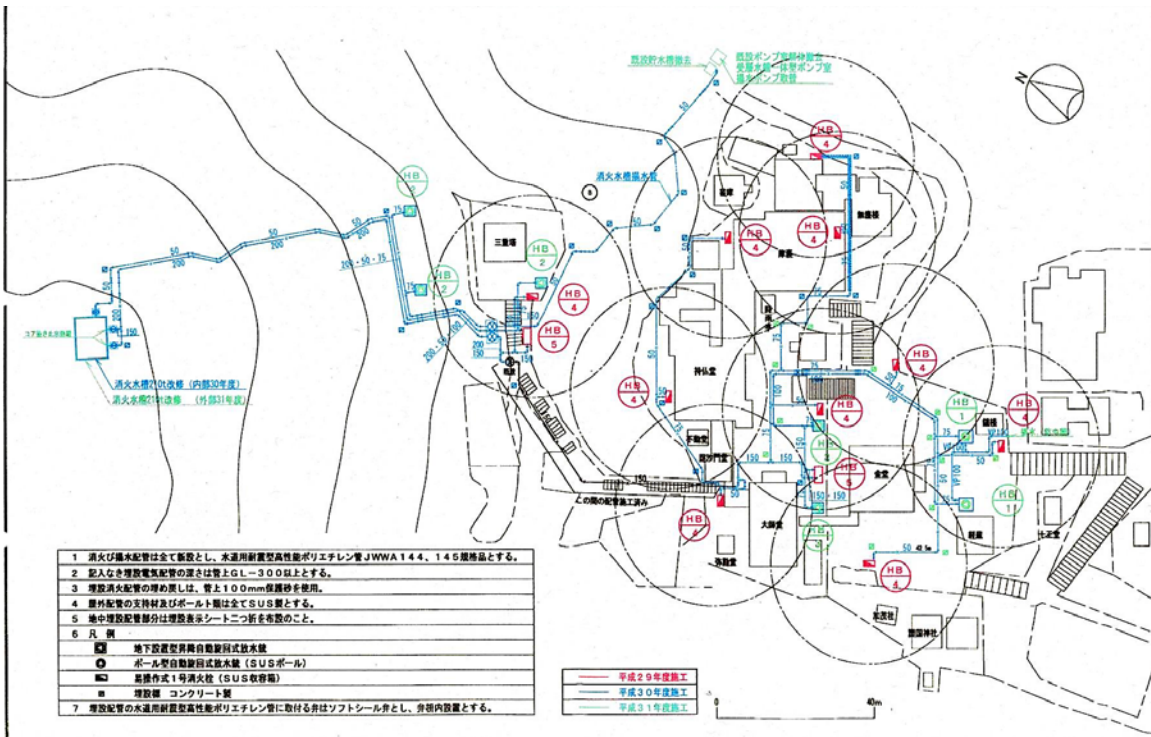
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

浄土寺での整備(平成26年度～27年度)に続き、需要文化財西國寺金堂及び三重塔防災・耐震対策重点強化(防災施設等)事業として、西國寺境内地一円に防災設備を整備した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

消火設備(消火栓等)整備計画図



防災設備配管の敷設状況



防災設備配管の敷設状況



評価軸③-3  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
まちなみ形成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成15年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)
計画に記載している内容	個性的で風格のあるまちなみを創出することを目的に、散在する歴史的建造物・工作物(歴史的風致形成建造物を除く)の所有者等が行う、建築当時の形態意匠を再現又は維持することを目的とする建造物の外観の修理、外観変更等の整備に要する経費に対して補助金を交付する。

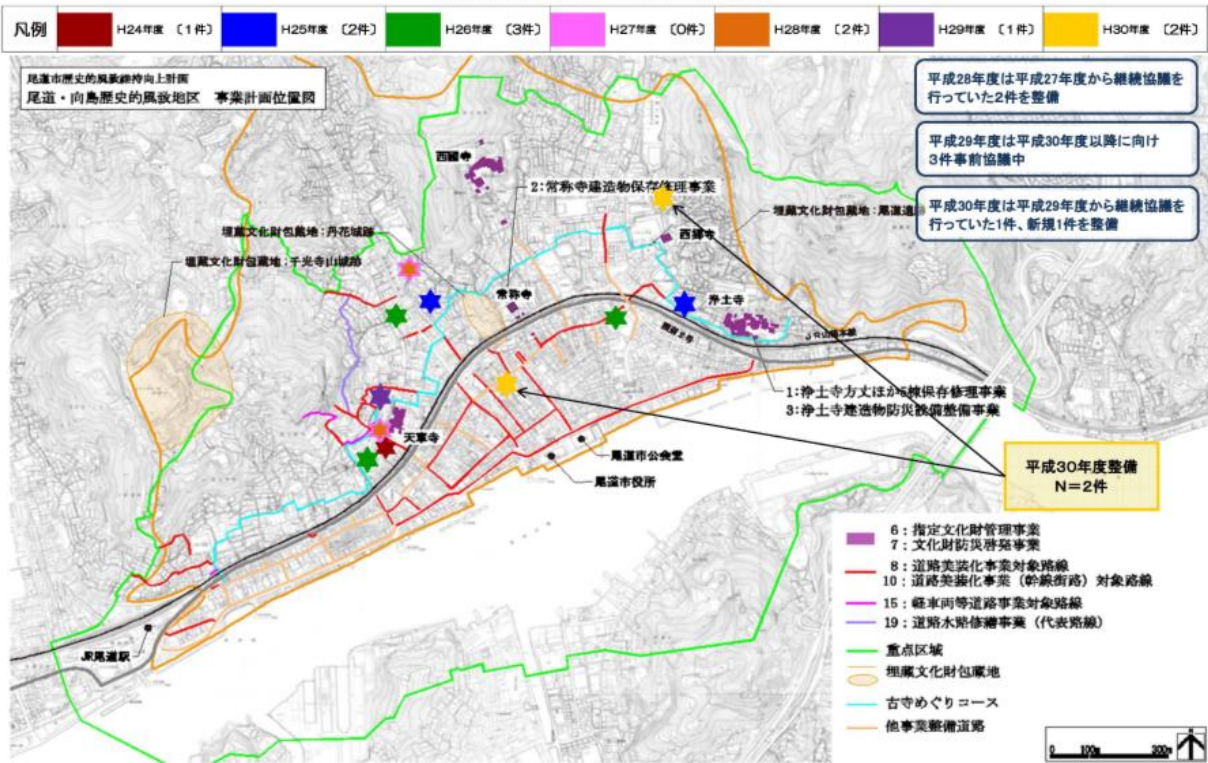
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

整備に要する経費に対して『尾道市まちなみ形成事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。  
平成30年度実績:2件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

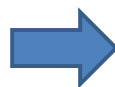
状況を示す写真や資料等

整備箇所図【まちなみ形成事業】



整備前

整備後







評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
指定文化財管理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和54年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業

計画に記載している内容 重要文化財建造物の防災設備が円滑に機能するよう、その点検や維持管理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

対象建造物所有者による防災設備の点検に対し、補助金を交付した。(浄土寺・西國寺・西郷寺・常称寺・天寧寺・向上寺)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

防災設備保守点検状況(浄土寺)



防災設備保守点検状況(西國寺)



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財防災啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	市民の協力を得ながら、文化財を火災等から守るため、文化財と防災に関する意識啓発を図るとともに、定期的・継続的に防災訓練を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内の重要文化財所有寺院において、消防局、地域住民合同の文化財防火訓練を実施した。(浄土寺、西國寺、西郷寺、常称寺、天寧寺、向上寺など)今年度は、光明坊において、文化財防災訓練を実施した。また、文化庁のポスター、チラシを配布・掲示し防災意識の向上に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

消防局、地域住民合同の文化財防火訓練の状況①  
〔平成31年1月19日：光明坊〕



消防局、地域住民合同の文化財防火訓練の状況②  
〔平成31年1月19日：光明坊〕



評価軸③-7  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
道路美化事業		現在の状況	
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	神社仏閣等の歴史的建造物を回遊する小路や斜面地等の散策道において、舗装及び側溝の美化を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
道路美化の全体計画延長はL=5,678mで、旧山陽道(市道本通線:尾道本通り商店街)を中心とし、旧山陽道に並行する「通り」と呼ばれる路線や旧山陽道と交差し斜面地に延びる「小路」と呼ばれる路線の舗装及び側溝の美化を実施する。 平成24年度から整備を開始し、平成30年度は小路(久保5号線)等の舗装の美化を実施した。 ◇平成30年度整備延長 L=204m (実績 L=2,022m/5,978m)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

### 整備箇所図【道路美化事業】

凡例

- H24年度 (322m)
- H25年度 (90m)
- H26年度 (428m)
- H27年度 (206m)
- H28年度 (520m)
- H29年度 (252m)
- H30年度 (204m)

尾道市歴史的風致維持向上計画  
尾道・向島歴史的風致地区 事業計画位置図

整備前 (久保5号線)

整備後 (久保5号線)

整備前 (尾道駅前尾崎線)

整備後 (尾道駅前尾崎線)

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
道路美化事業(瀬戸田地区)		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 瀬戸田歴史的風致地区の中心地であるしおまち商店街と向上寺に至る道路において、舗装及び側溝の美化化を行う。

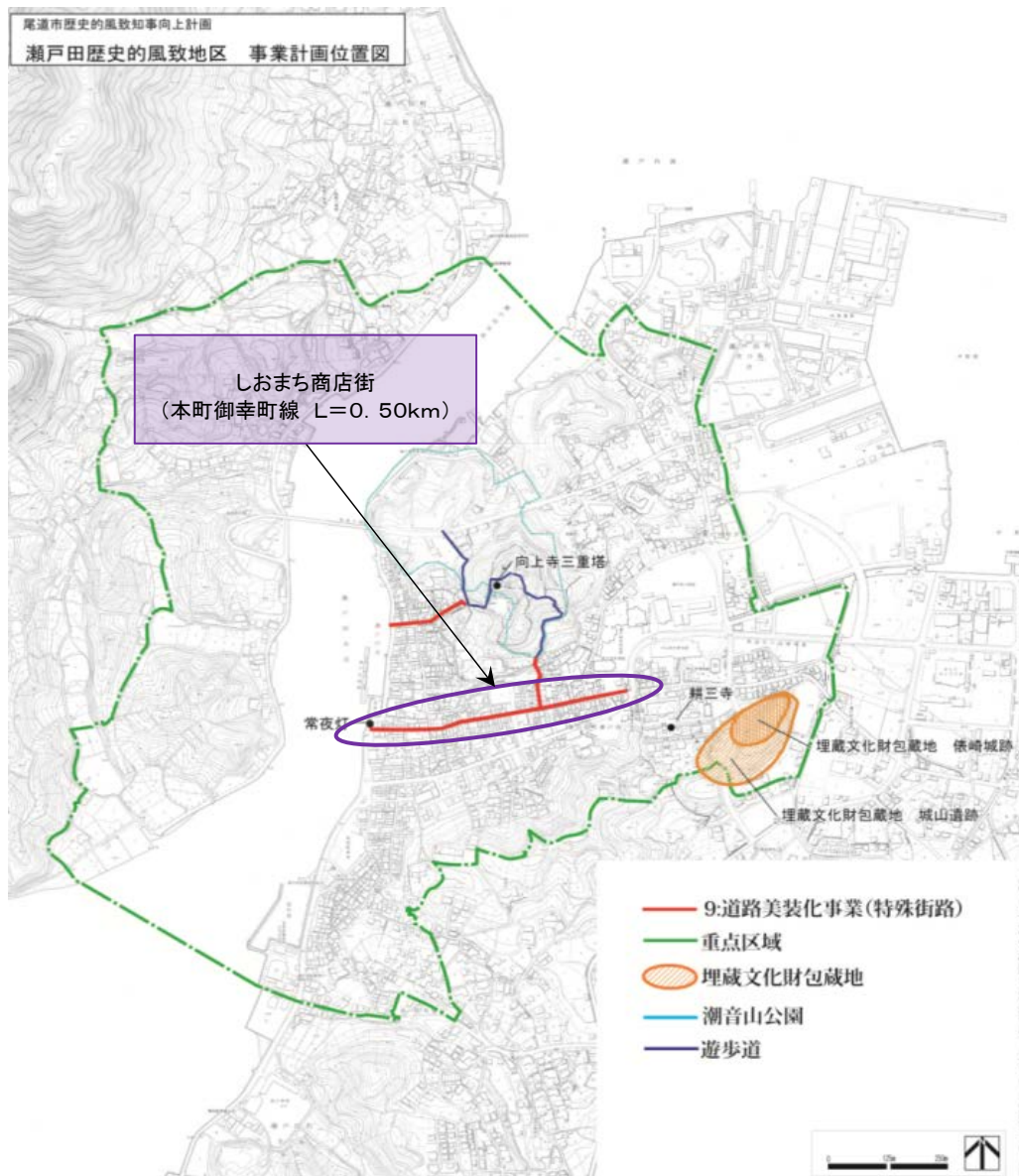
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度に道路美化工工事の測量設計を実施。  
 平成30年度では、令和元年度の着手に向けて地元調整等を行った。  
 本町御幸町線:L=0.50km

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



項目	評価対象年度	平成30年度
道路美化事業(幹線街路)		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和59年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街路事業)

計画に記載している内容 旧西国街道にあたる久保長江線の歩道において、舗装の美化化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

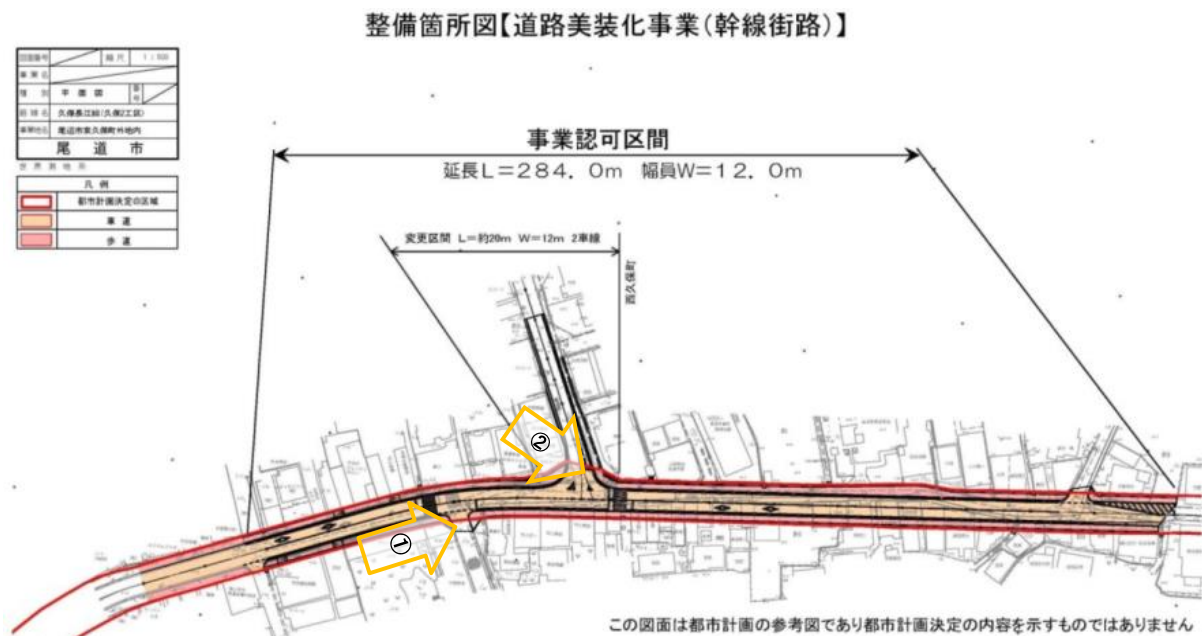
都市計画法の事業認可(～令和4年度)を受け事業を実施。  
 平成24年度から用地買収・建物補償等を実施。平成26～27年度は用地買収部分の管理工事(アスファルト舗装等)を実施。  
 平成28年度は引き続き用地買収・建物補償等を実施。  
 平成29年度及び30年度では、引き続き用地買収及び地下にある防地川の改修を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



状況写真①



工事状況写真

状況写真②



工事状況写真

評価軸③-10  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
沿道建造物等修景事業		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成24年度～令和3年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	新たに美化化を行う道路及び既に美化化された道路や神社仏閣の参道において、その沿道の建造物や工作物の修景を行う。	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

修景整備に要する経費に対して『尾道市沿道建造物等修景事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。引き続き、補助制度のチラシ等により制度の活用について周知を図る。  
平成30年度実績 2件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

**整備箇所図【沿道建造物等修景事業】**

**整備箇所図【沿道建造物等修景事業】**

凡例  
 ■ H24年度 (10件) ■ H25年度 (9件) ■ H26年度 (11件) ■ H27年度 (22件) ■ H28年度 (12件) ■ H29年度 (1件) ■ H30年度 (2件)

尾道市歴史的風致維持向上計画  
尾道・内島歴史的風致地区 事業計画位置図

平成24年度整備 N=7件(10件)  
 平成25年度整備 N=9件(9件)  
 平成26年度整備 N=11件(11件)  
 平成27年度整備 N=22件(22件)  
 平成28年度整備 N=10件(12件)

平成29年度整備 N=1件(1件)  
 平成30年度整備 N=2件(2件)

4: 指定文化財管理事業  
 7: 文化財芸術保護事業  
 8: 道路美化事業(駅前周辺)対象路線  
 10: 道路美化事業(駅前周辺)対象路線  
 15: 橋本内等近郊学校対象路線  
 19: 近郊水防整備事業(代表路線)

重点区域  
 歴史文化財包蔵地  
 古守めぐりコース  
 修景実施道路

尾道市歴史的風致維持向上計画  
瀬戸田歴史的風致地区 事業計画位置図

平成24年度整備 N=3件(10件) 平成28年度整備 N=2件(12件)  
 平成25年度整備 N=0件(9件) 平成29年度整備 N=0件(1件)  
 平成26年度整備 N=0件(11件) 平成30年度整備 N=0件(2件)  
 平成27年度整備 N=0件(22件)

9: 道路美化事業(特殊道路)  
 重点区域  
 歴史文化財包蔵地  
 瀬戸田公園  
 瀬戸道

整備前

➡

整備後

評価軸③-11  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
老朽危険建物除却促進事業		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成24年度～令和3年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
計画に記載している内容	良好な景観の形成の促進及び住環境の改善を図ることを目的に、使用されず適正に管理されていない老朽危険建物の除却に要する経費に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

除却に要する経費に対して『尾道市老朽危険建物除却促進事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。引き続き、補助制度のチラシ等により制度の活用について周知を図る。  
平成30年度実績 12件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【老朽危険建物除却促進事業】

整備前

➡

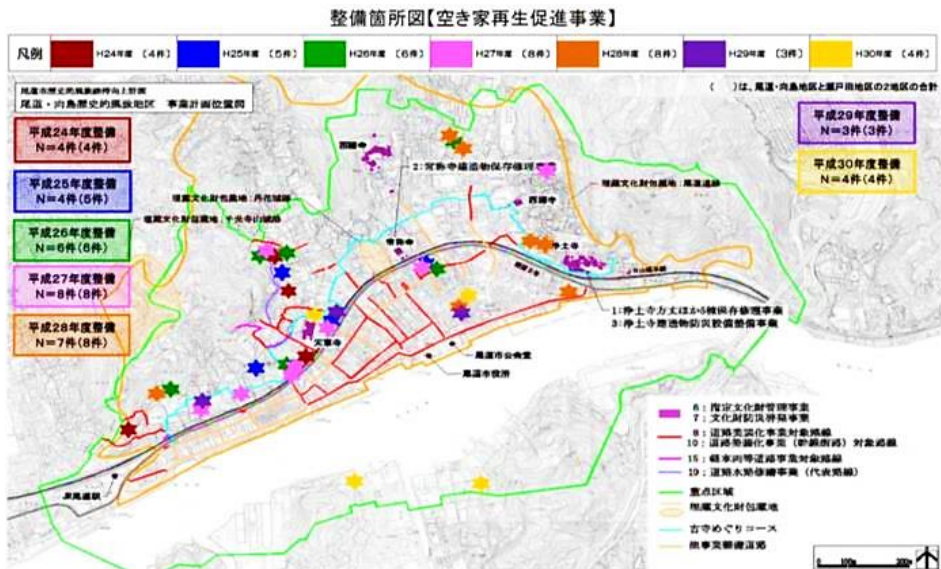
整備後



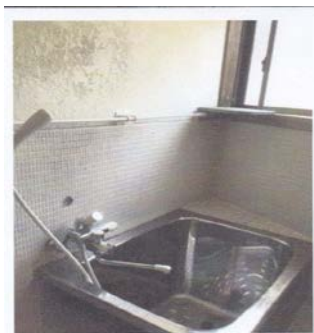
評価軸③-12  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
現在の状況		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
空き家再生促進事業			
事業期間	平成24年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)		
計画に記載している内容	空き家の有効利用を通して、地域の活性化及び良好な景観の形成の促進を図ることを目的に、空き家の再生に必要な改修に要する経費に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
再生に要する経費に対して『尾道市空き家再生促進事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。引き続き、補助制度のチラシ等により制度の活用について周知を図る。 平成30年度実績 4件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



整備前



風呂・居間・トイレ・台所等を改修し、定住につながった事例

評価軸③-13  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
電柱类等景観改善事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 電柱・電線の輻輳により眺望景観が阻害されている通りを対象に、上空の電線を集約し景観に配慮した電柱とすることで、道路からの眺望景観の向上を図る。

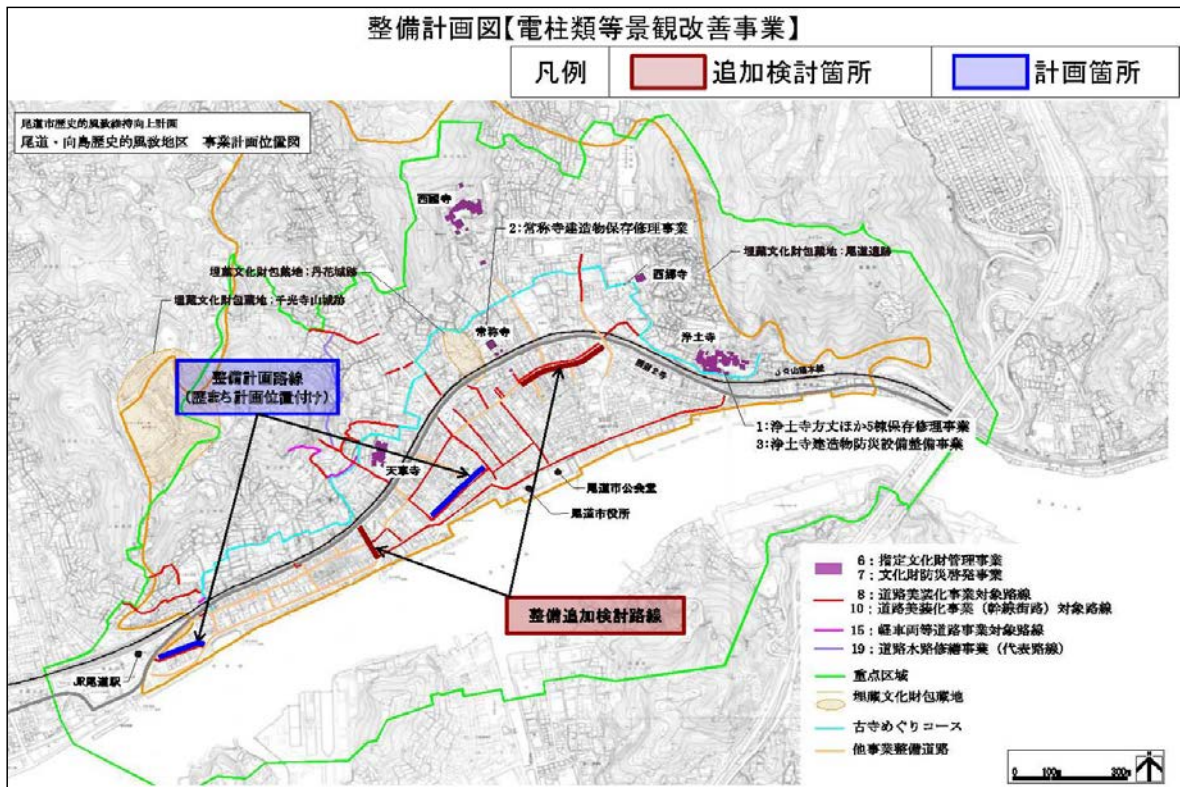
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度に重点区域内の2路線(渡場線他)について無電柱化を進めるための概略検討を行い、それを踏まえ平成30年度では、事業実施に向けた関係機関協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



道路美装化事業(路側帯美装化)実施後に住民から電柱・電線について改善の要望のあった「渡場線」平成29年度で無電柱化の概略検討を実施

無電柱化イメージ



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
軽車両等道路事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)		
計画に記載している内容	市民や観光客の利便性向上のため、階段部や隅切りのない交差点部において、道路のスロープ化や隅切り確保を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
事業実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業の実施にあたっては、障害となる建物(空き家)の除却が必要で、また時間も要するため、事業の再検討が必要である。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-15  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
夜間景観形成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

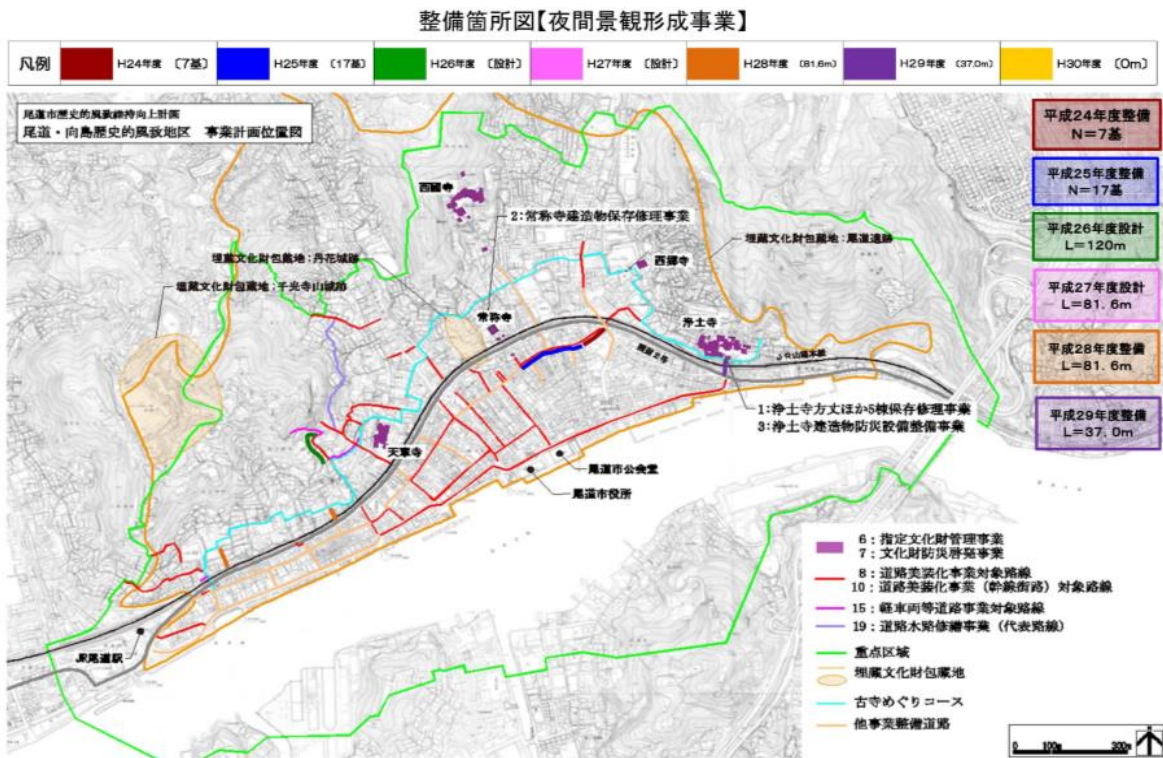
事業期間	平成24年度～令和3年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
計画に記載している内容	夜間の安全な通行と夜間景観の形成の促進を図ることを目的に、歴史的な背景を持つ街並みに調和したデザインの街灯等の設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

夜間景観がより魅力的なものとなるよう整備を進めていくため、「個性」「観光」「生活」の3項目を基本的な柱とした「尾道市夜間景観整備基本構想」を策定し、これまで、道路美化、側溝美化と併せた街灯の設置や参道石段照明を整備し、観光部局で取り組んでいる浄土寺等のライトアップ事業とあわせて、魅力的な夜間景観の整備を行っている。さらなる魅力を高めるため、新たな設置に向けて設置個所の検討を行った。  
平成30年度実績 整備L=0m

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



整備後



平成29年度整備箇所(浄土寺石段照明)

浄土寺ライトアップ(夜間景観整備事業)



評価軸③-16  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成30年度

項目	現在の状況
データ収集分析調査事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度

支援事業名 歴史的風致活用国際観光支援事業

計画に記載している内容 文化財や歴史的風致などの多様な魅力を、より多くの外国人旅行者に対して、効率的・効果的に情報発信し、外国人旅行者の受入環境を更に向上させるため、現状調査やニーズ調査等のデータ収集を行い、分析調査した結果を地域観光担い手育成事業等の基礎資料として活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「外国語を話せる調査員による聞き取りアンケート」と「Hiroshima Free Wi-Fi(HFW)利用ログ」調査を中心とし、必要に応じて、「SNS、口コミサイト」の調査を行い、尾道市を訪れている主な外国人や訪問目的等を把握することができ、受入環境向上のための基礎情報を得ることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

報告書(抜粋)

1、尾道市訪問客実態調査 調査概要

1-1、調査目的

外国人観光客の増加により、平日の宿泊客の増加が見込まれ、安定的な観光振興が期待できる。外国人観光客を増やすために、外国人旅行者に対して、観光資源の多様な魅力を効率的・効果的に情報発信し、受入環境を更に向上させることを目的とし、尾道市を訪れている外国人の実態調査を行う。

1-2、調査方法

情報発信、受入環境向上検討時に必要となる情報(図表1-1の実態)を明らかにするために、「外国人を誘致する調査員による街頭のアンケート」及び「Hiroshima Free Wi-Fi(HFW)利用ログ」調査を中心とし、必要に応じて、「SNS、口コミサイト」の調査を行った。

1-3、調査時期

<アンケート調査>  
 平成29年10月09日(祝)～10月12日(木)

<HFW利用ログ調査>  
 平成29年09月01日(金)～平成29年11月30日(木)の3ヶ月(12ヶ所の利用ログを調査)  
 平成28年12月01日(木)～平成29年11月30日(木)の12ヶ月(7ヶ所の利用ログを調査)

1-4、調査対象者

尾道市を訪れた外国人。ただし、尾道市の地元民を除く。

※地元民の判断

アンケート調査では、直接、地元民かどうかを確認した上で判断。HFW利用ログ調査では、調査期間内に10日以上利用実績がある者を地元民と判断。

1-5、調査場所

アンケート調査	HFW利用ログ調査
JR尾道駅南口、千光寺公園展望台、尾道港駅前港海客乗場付近	新尾道駅市民ギャラリー、新幹エリア ポプラ久保店、ロープウェイ山越新観光案内所、尾道駅観光案内所、ウォーターフロントビル(3F 美術館)、道の駅クロスロードみづの、尾道港 駅前港海客乗場(西側)、しまなみ海道 大浜PA(下り)、土生港、ドルチェ 瀬戸日本店、瀬戸田港、生口中学校跡地公衆トイレ

1-6、有効回答数とログ取得者数

以下のとおりである(重複・エリア別の詳細は図1-2、1-3参照)。

<アンケート調査>

有効回答数 n=130人

<HFW利用ログ調査>

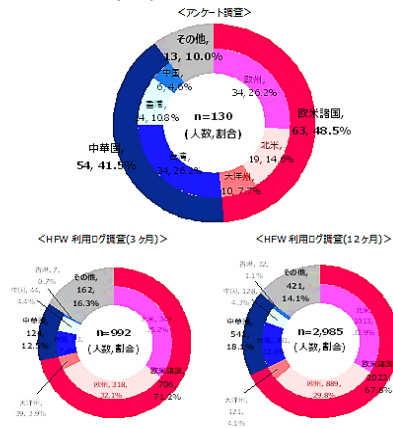
3ヶ月間のログ取得者数 n=992人(12ヶ所での利用ログの合計)、12ヶ月のログ取得者数 n=2,985人(7ヶ所での利用ログの合計)

※HFWの重複・エリア別人数をみる際の留意点

以下の点から、各自治体における数日外国人の入込の実態とFree Wi-Fiの利用の傾向が把握される場合がある。

- 一般的に、Free Wi-Fiの利用は、欧米が顕著な傾向にある

図表1-3 有効回答数とログ取得者数(エリア別)



1、尾道市訪問客実態調査 調査結果(特徴のまとめ)

尾道市を訪れている外国人は、主に欧米諸国と中華圏から構成され、以下の特徴があることが分かった(詳細は、図表2参照)。

<アンケート調査結果>

- ・ 欧米諸国は、中華圏と比べて、宿泊率が高い
- ・ 欧米諸国は、中華圏と比べて、旅行で尾道市訪問を決定する割合が高く、情報源は口コミサイトや友人・知人の割合が高い。一方、中華圏は、大半が旅行で尾道市訪問を決定しており、情報源は他人のブログや友人・知人の割合が高い。
- ・ 欧米諸国は、中華圏と比べて、しまなみ海道エリアでサイクリングを体験する割合が高い。一方、中華圏は、大半が坂・山エリアで神社仏閣を観光しており、欧米諸国と比べて、商店街エリアを訪問する割合が高い。
- ・ 中華圏は、欧米諸国と比べて、尾道市に対する不満がある割合が高い(重複対応や交通、Wi-Fi等)

<HFW利用ログ調査結果>

- ・ 欧米諸国、中華圏ともに、広島県在住と推察される外国人も尾道市を訪れている
- ・ SNS、口コミサイトの調査結果
  - ・ 尾道市の口コミサイトの投稿数は、広島市等と比べると、欧米諸国、中華圏ともに少ない
  - ・ 坂・山エリアでは、欧米諸国、中華圏ともに、現地に観光する専ら仏教・街並み・海の風景の投稿写真が自立的に、欧米諸

評価軸③-17  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
多国語音声設備設置事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成24年度～令和3年度
支援事業名	平成24年度～26年度 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業) 平成27年度～29年度 歴史的風致活用国際観光支援事業 平成30年度～令和3年度 尾道市単独事業

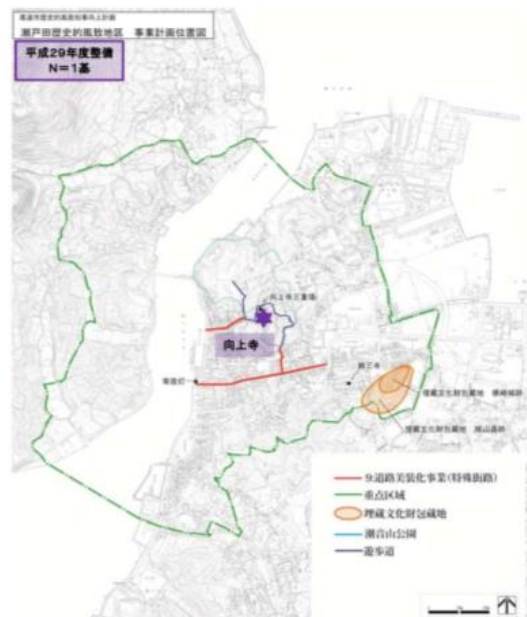
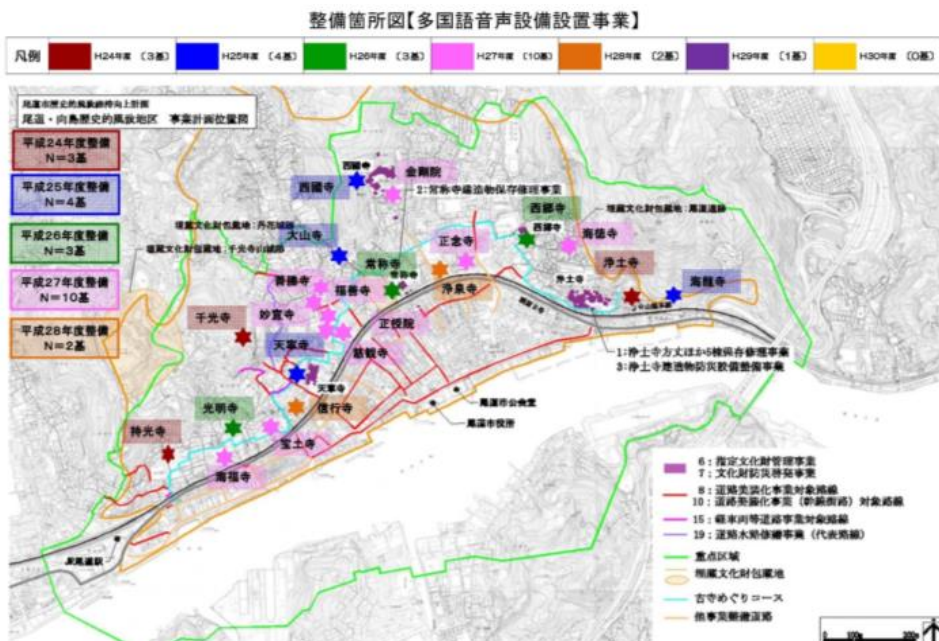
計画に記載している内容 神社仏閣等や観光施設等において、海外からの観光客にも対応可能な多国語の音声システムを備えた設備を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

尾道市における観光分野において、多大な協力のある宗教法人に承諾を得て順次設置を進めてきており、古きめぐりルート内の寺院のほぼ全てに設置することができた。  
平成30年度実績 N=0基

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等





瀬戸田地区 向上寺(平成29年度整備)



評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
地域観光担い手育成事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度		
支援事業名	歴史的風致活用国際観光支援事業		
計画に記載している内容	データ収集分析調査事業による分析結果を基礎資料として活用し、本市の歴史的風致を中心とした多様な観光資源を訪日外国人旅行者に確実に提供するために必要な人材の確保と育成を行う。 なお、地域観光コーディネーターの育成にあたっては、サイクリング等に合わせた案内を行うことができるような研修等を実施することとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
これまでなかった外国人向け観光ボランティアガイド育成研修を実施することで、地域観光の担い手となることへの興味、きっかけづくりとなり、これからますます必要となる外国人旅行者への観光対応の人材育成を図ることができた。 参加者 14名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">講義風景</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 20px auto;">フィールドワーク</div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>			

評価軸③-19  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
歩行者安全対策事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 坂の多い尾道市において、市民や観光客の円滑な歩行を補助するため、周囲の歴史的な背景を持つ街並みに調和した新たなデザインの手すりを設置する。また、劣化している手すりについても、同様なデザインへの更新を行う。

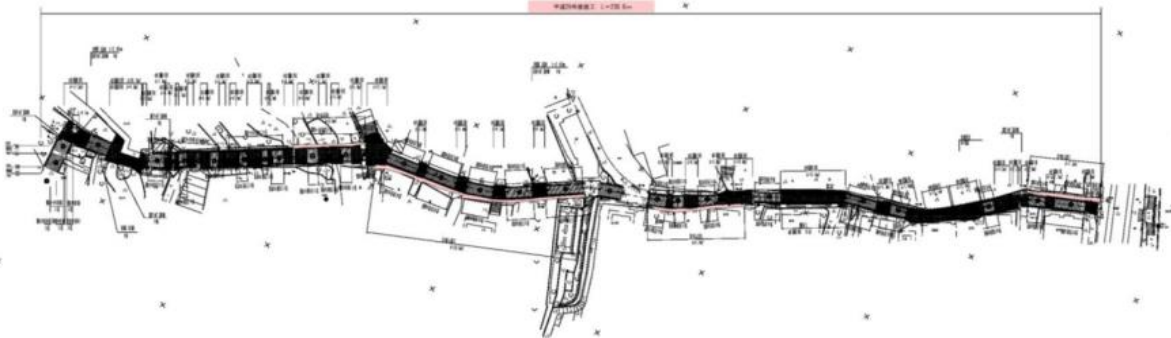
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道路の美化化や水路修繕事業に合わせ地域住民の要望に基づき、街並みに調和したデザインの手すりの設置をしてきており、引き続き、新たに設置が必要な個所の検討を行った。  
平成30年度 N=0箇所

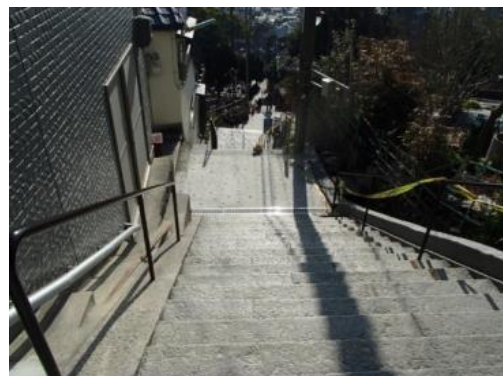
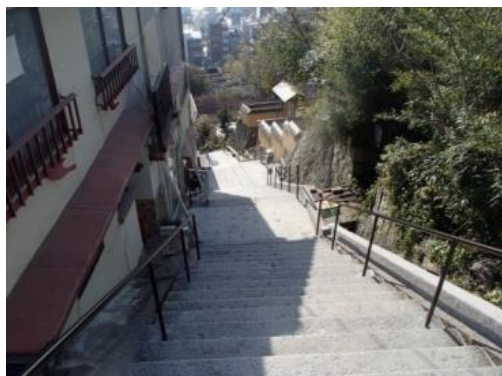
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

千光寺参道(土堂75号線)(平成29年度整備)



整備後

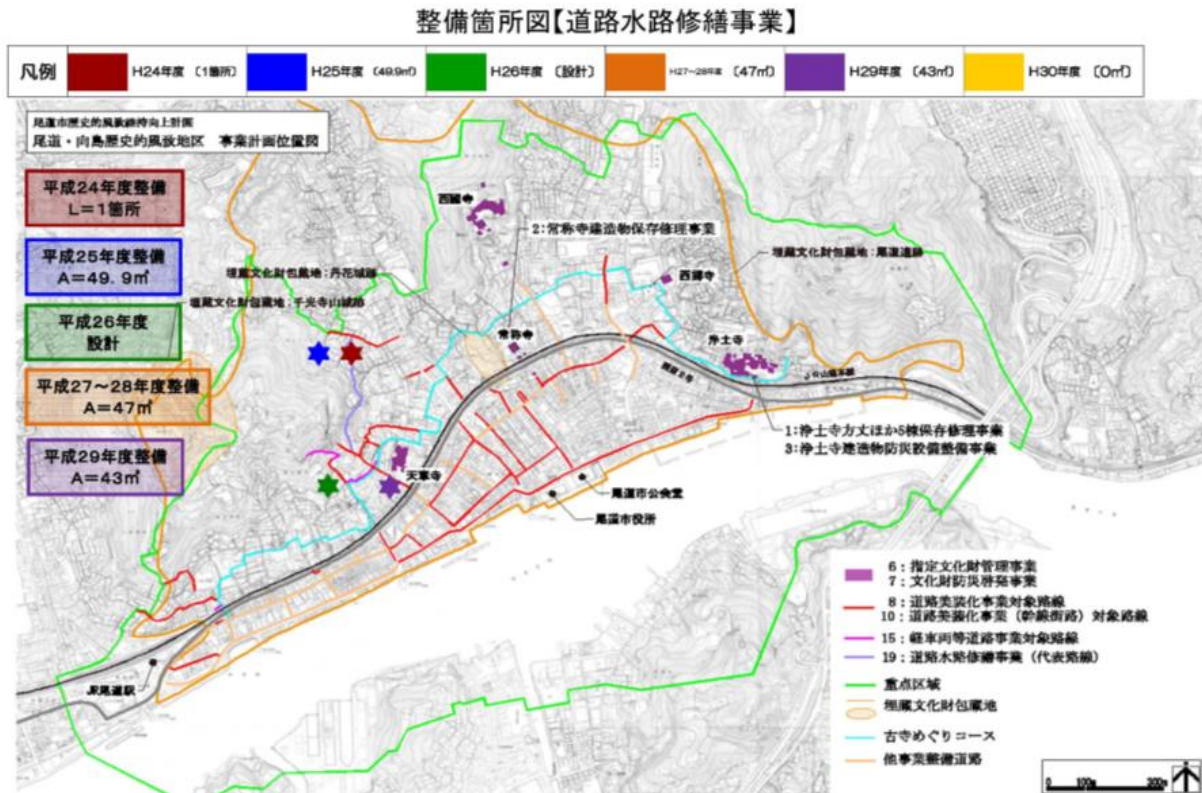




評価軸③-20  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
道路水路修繕事業		現在の状況	
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和3年度		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	坂の多い尾道市において、市民や観光客の安全な歩行のために、劣化によって構造的に安全面の問題があるものや美観が損なわれている階段及び水路等の修復を行い、街並み景観の形成の促進を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
道路の美化にあわせて手すりの設置とあわせて整備をしてきており、引き続き、新たに設置が必要な個所の検討を行った。 平成30年度 0㎡			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



千光寺参道(土堂75号線)(平成29年度整備) 整備



評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
駐輪場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	小路の多い尾道市においては、小路に駐輪された二輪車によって、市民や観光客の安全な歩行が脅かされるとともに、美観が損なわれる恐れもあるため、空き地を活用して新たに駐輪場を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
事業実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	(誰もが利用しやすい場所での)適地の選定が困難であり、あわせて住民・観光客のニーズを踏まえて事業内容の再検討が必要である。		
状況を示す写真や資料等			

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
文化財調査・研究事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～

支援事業名 尾道市単独事業

計画に記載している内容 文化財総合的把握モデル事業(平成20年度～22年度)を継承する形で、計画的・継続的に文化財の調査・研究を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の村上海賊城跡の現地調査を12箇所、市内建造物(常称寺本堂)の詳細調査を1箇所、寺院所有美術工芸品の詳細調査を10箇所、市内天然記念物の詳細調査を5箇所実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

村上海賊城跡調査の状況



常称寺本堂調査の状況



評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成30年度

項目	現在の状況
郷土芸能祭開催事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 尾道市単独事業

計画に記載している内容 尾道市内の神楽や鉦太鼓踊り、太鼓等の民俗芸能を市民に披露し、民俗芸能の普及及び顕彰に努める。重点区域をはじめ尾道市における郷土芸能を広く紹介するとともに、普及・啓発を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

郷土芸能祭(ふるさとステージ)を尾道みなと祭にあわせて開催した。  
 ◇平成24年度:平成24年4月28日～29日    ◇平成28年度:平成28年4月23日～4月24日  
 ◇平成25年度:平成25年4月27日～28日    ◇平成29年度:平成29年4月22日～4月23日  
 ◇平成26年度:平成26年4月26日～27日    ◇平成30年度:平成30年4月28日～4月29日  
 ◇平成27年度:平成27年5月2日～5月3日

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

ふるさとステージの状況



広報おのみち(平成30年4月号)



評価軸③-24  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
史跡等総合活用支援推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	平成24年度:文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 平成25～26年度:地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業 平成27年度～:地域の特色ある埋蔵文化財活用事業		
計画に記載している内容	埋蔵文化財の整理・情報公開・データベースの整備・出張展示会、講演会の開催を行う。特に、重点区域(尾道・向島歴史的風致地区)では、尾道遺跡に関する資料・データ等の整理、情報公開、啓発等に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◇出張展示会「尾道 塩の道」:平成25年1月12日～1月27日(会場=おのみち街かど文化館)[参加者数 1,840名] ◇出張展示会「尾道の石造と土工」:平成25年8月9日～9月1日(会場=おのみち街かど文化館)[参加者数 3,780名] ◇出張展示会「荒木村重、備後尾道に落ちる」:平成26年9月13日～10月19日(会場=尾道市立中央図書館市民ラウンジ) (参加者数未計測) ◇出張展示会「瀬戸内の覇者村上水軍と港町尾道」:平成27年7月31日～平成28年1月28日(会場=因島水軍城) [参加者数 17,965名] ◇出張展示会「よみがえる村上海賊の記憶」:平成28年7月29日～平成28年12月14日(会場=因島水軍城) [参加者数 19,562名] ◇出張展示会「村上海賊武器甲冑アラカルト」:平成29年7月14日～平成29年8月2日、9月1日～11月1日(会場=因島水軍城) [参加者数 8,521名] ◇出張展示会「村上海賊合戦絵巻」:平成30年4月1日～平成30年5月30日(会場=因島水軍城)[参加者数 7,160名] ◇出張展示会「村上海賊の信仰と祈り」:平成30年11月9日～平成31年1月9日(会場=因島水軍城)[参加者数 4,233名]			
進捗状況 ※計画年度との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

出張展示会「村上海賊合戦絵巻」



出張展示会「村上海賊の信仰と祈り」



評価軸③-25  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財愛護少年団事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和43年度～		
支援事業名	平成24年度:文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 平成25～26年度:地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業 平成27年度～:地域の特色ある埋蔵文化財活用事業		
計画に記載している内容	文化財愛護少年団の歴史は長く、毎年小中学生を対象に「文化財愛護少年団学習会」を様々な形で開催し、文化財愛護精神と郷土愛の育成に取り組んでいる。 今後とも、文化財愛護少年団活動に対する普及・啓発を図りながら、参加を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財愛護少年団事業学習会 ◇平成24年度:全7回(7月1日、7月30日～31日、8月18日、9月15日、11月10日、2月23日、3月24日)[延べ参加者数 335名] ◇平成25年度:全7回(6月30日、7月29日～31日、8月17日、10月19日、11月16日、2月22日、3月29日)[延べ参加者数 307名] ◇平成26年度:5回(7月5日、7月28、30日、8月16日、8月28日、11月15日)(延べ参加者数 197名) ◇平成27年度:全10回(7月11日、27、28日、8月2日、23日、10月4日、18日、25日、11月8日、2月27日、3月30日) [延べ参加者数 269名] ◇平成28年度:全6回(7月16日、25、26日、8月21日、11月6日、12月3日、2月12日) [延べ参加者数 292名] ◇平成29年度:全6回(7月24、25日、8月20日、9月24日、11月11日、12月2日、1月27日、3月28日)[延べ参加者数 285名] ◇平成30年度:全6回(7月22日、30、31日、8月19日、12月15日、2月24日、3月27日)[延べ参加者数 241名]			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
文化財愛護少年団事業学習会の開催状況(平成30年7月22日) 			
文化財愛護少年団事業学習会の開催状況(平成30年7月30日) 			

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財講座開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	平成24年度:文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 平成25～26年度:地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業 平成27年度～:地域の特色ある埋蔵文化財活用事業		
計画に記載している内容	尾道市全体やそれぞれの地域、共通するテーマ等で、文化財や歴史に関する講演会等を開催してきている。今後とも、尾道市の文化財および歴史に関する講演会等の開催を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財講座開催事業	◇平成24年度:	・平成24年8月26日 [参加者数148名] ・平成25年2月21日 [参加者数92名]	・平成24年12月20日[参加者数41名] ・平成25年3月14日[参加者数82名]
	◇平成25年度:	・平成25年12月13日 [参加者数72名]	・平成26年2月27日[参加者数81名]
	◇平成26年度:	・平成26年10月18日 [参加者数73名]	
	◇平成27年度:	・平成27年8月8日 [参加者数40名] ・平成28年3月4日 [参加者数70名]	・平成28年1月23日[参加者数110名]
	◇平成28年度:	・平成28年7月2日 [参加者数一名] ・平成29年2月24日 [参加者数33名]	・平成28年9月4日[参加者数100名]
	◇平成29年度:	・平成29年5月13日 [参加者数90名]	
	◇平成30年度:	・平成30年10月28日 [参加者数30名]	・平成31年3月27日[参加者数30名]
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
文化財講座の開催状況(平成31年3月27日)			
			





評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
尾道歴史文化読本作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

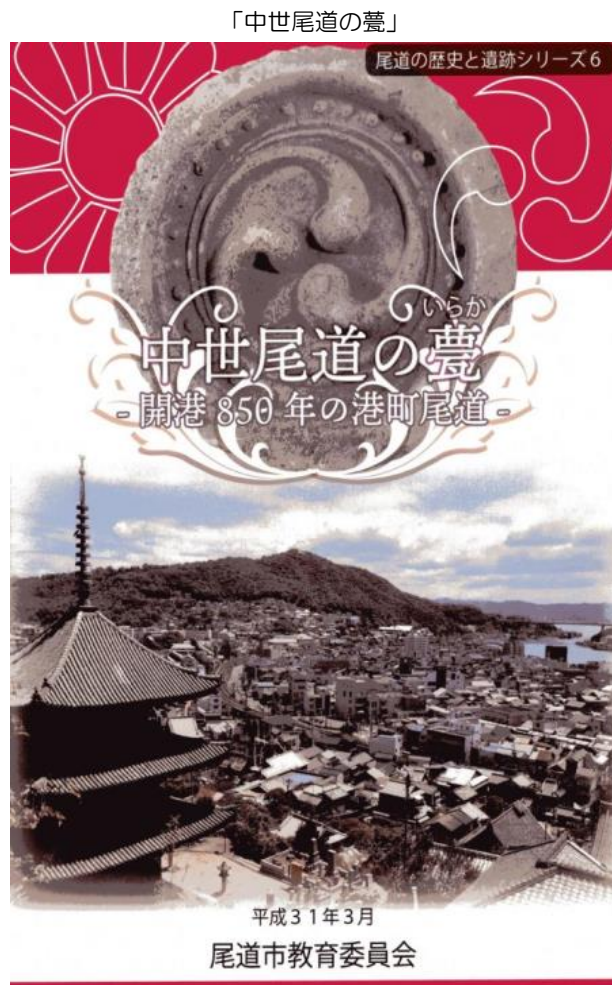
事業期間	平成24年度～
支援事業名	平成24年度:文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 平成25～26年度:地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業 平成27年度～:地域の特色ある埋蔵文化財活用事業
計画に記載している内容	尾道市では、文化財愛護少年団活動や学校教育等を通じて、小さいころから文化財愛護精神と郷土愛の育成に取り組んでいる。こうした取り組みを継承・発展させるため、尾道市の学校教育(小学校中学年～中学生を主対象)における歴史読本の作成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◇平成24年度 埋蔵文化財広報冊子「尾道の歴史と遺跡 近世編」500部刊行、配布
- ◇平成25年度 埋蔵文化財広報パンフレット「発掘 尾道遺産 御調編」3,000部刊行、配布
- ◇平成26年度 埋蔵文化財広報パンフレット「発掘尾道市民遺産 街道編」3,000部刊行、配布
- ◇平成27年度 埋蔵文化財広報パンフレット「尾道の歴史と遺跡 瀬戸内の覇者 村上海賊」3,000部刊行、配布
- ◇平成28年度 埋蔵文化財広報パンフレット「尾道近世遺跡 北前船と港町尾道」3,000部刊行、配布
- ◇平成29年度 埋蔵文化財広報パンフレット「尾道と塩の文化」3,000部刊行
- ◇平成30年度 埋蔵文化財広報パンフレット「中世尾道の甕」3,000部刊行

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等





評価軸③-30  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
			現在の状況
近代化遺産活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成20年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	尾道市では、バスを利用して市内各地の近代化遺産をめぐる取り組みを行っている。今後とも、関係権利者・管理者の理解と協力を得ながら、近代化遺産の公開の促進に努めるとともに、「近代化遺産めぐり」などの開催を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
近代化遺産めぐり ◇平成24年度:平成24年12月1日 参加者数35名      ◇平成25年度:平成26年 3月1日 参加者数49名 ◇平成26年度:平成26年9月21日 参加者数33名      ◇平成27年度:平成27年8月23日 参加者数13名 ◇平成28年度:平成29年2月12日 参加者数80名      ◇平成29年度:平成30年3月11日 参加者数71名 ◇平成30年度:平成31年3月23日 参加者数30名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

平成25年度：近代化遺産めぐり



平成26年度：近代化遺産めぐり



平成27年度：近代化遺産めぐり



平成28年度：近代化遺産めぐり



平成29年度：近代化遺産めぐり



平成30年度：近代化遺産めぐり



評価軸③-31  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況
文化施設ネットワーク事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成24年度～
支援事業名	尾道市単独事業
計画に記載している内容	おのみち歴史博物館、尾道商業会議所記念館、尾道遺跡発掘調査研究所等の役割分担と連携を図りながら、情報の共有化・ネットワーク化を進め、市民や訪れた人々の情報サービスを高めるとともに、ホームページにおける歴史文化情報等の充実に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

商工部局が管理する「尾道商業会議所記念館」で企画展示を実施した。  
また、企画展示開催の情報発信を各施設で行うなど所管する関係課と情報交換を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

企画展示会場となる尾道商業会議所記念館



尾道商業会議所記念館の位置(観光パンフレットから)



企画展示の状況

尾道商業会議所記念館 平成30年度企画展示の概要

- ① 第34回企画展示  
『商都尾道の市制施行と二つの架橋』
- 期間:平成30年6月1日(金)  
～10月31日(水)
- [参考]入館者数:16,076人  
※企画展示のみの来場者数は把握していないため、  
期間中の尾道商業会議所記念館の入館者数を記載



尾道商業会議所記念館 平成30年度企画展示の概要

- ② 第35回企画展示『引き札に見る北前船の勇姿』
- 期間:平成30年11月2日(金)  
～平成31年2月27日(水)
- [参考]入館者数:11,820人  
※企画展示のみの来場者数は把握していないため、  
期間中の尾道商業会議所記念館の入館者数を記載



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の調査に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 地元調査員による有形文化財(建造物)、民俗文化財、歴史的景観(小景観:狭い範囲の景観)の調査、及び専門家による美術工芸品(仏像)、民俗芸能、歴史的建造物の調査を、市内全域の統一基準で実施しており、継続してその他の分野でも市内全域を対象とした文化財調査の実施に努める。  
 また、文化財調査の際には、市民参加型の調査を行い、郷土の文化財への理解と愛護精神の高揚を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財調査・研究事業(評価軸③-22:P26)を参照
- 近代化遺産調査・研究及び保存・活用検討事業

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

③-22:文化財調査・研究事業:P26 ①



③-22:文化財調査・研究事業:P26 ②



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
文化財の修理に関する事項		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 市内の文化財の状況を見ると、緊急性を要する文化財が多数見受けられ、指定文化財については、その損傷具合や緊急性を考慮し、修理事業を実施している。特に重要文化財の建造物は、その建築年代が古いことから、緊急性を要するものが多い。また、美術工芸品についても、修理の必要がある場合には、その状況を把握し、修理計画を作成することが求められる。ただし、美術工芸品の場合、その保管状況や防犯体制についても考慮する必要がある。教育委員会は、文化財所有者にその指導助言を継続的に行う。文化財の修理は、歴史的真正性を損なうことなく、適切な修理及び整備を実施するとともに、市民に理解を得られるよう適宜公開する機会を設け情報発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 重要文化財等保存修理事業＝常称寺建造物保存修理事業(評価軸③-1:P5)を参照
- 文化財保存事業

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

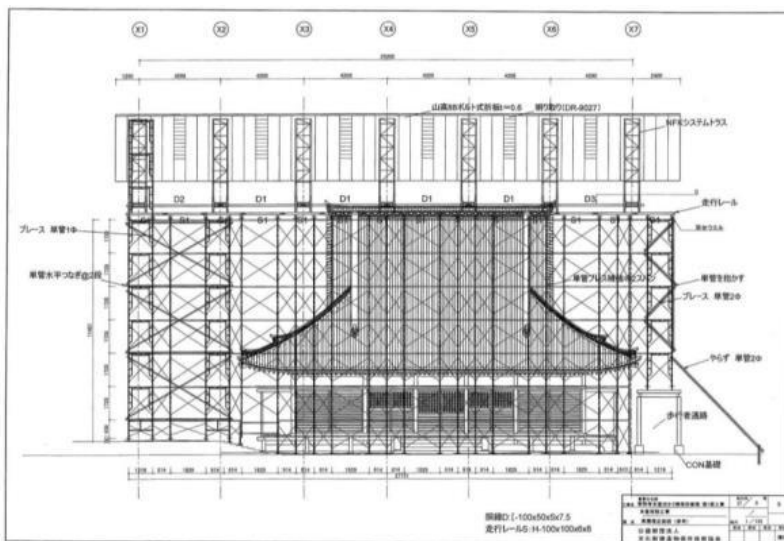
状況を示す写真や資料等

③-1：常称寺建造物保存修理事業：P5

常称寺本堂 (重要文化財)



常称寺大門 (重要文化財)



【参考図面】公益財団法人文化財建造物保存技術協会 (尾道市文化振興課提供)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の防災に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 特に建造物は、被害を受けやすく、修理に多大な時間と費用を必要とするため、防災対策を万全にし、被害を未然に防ぐこと、被害を最小限にとどめることが重要であり、防災設備の設置と点検を推進する。  
 また、従来の文化財の防災対策は、指定文化財に限定されることが多く、指定文化財以外の文化財や文化財の周辺環境に対しては、同様の防災対策はとられていないのが現状である。これらについては、指定文化財と同様の対策をとるのではなく、その状況に応じた防災対策を練る。そのためには、各地域の防災組織と情報交換を行い、文化財をとりまく地域ぐるみの防災体制の構築に努める。  
 また、防災だけでなく、防犯対策も必要であり、文化財所有者への防犯意識の徹底を図る。  
 文化財の適切な保存・活用のため、文化財所有者及び地域住民の防災意識を高め、文化財防災設備点検等を行う文化財管理事業を継続的に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 重要文化財建造物防災設備整備事業
- 指定文化財管理事業(評価軸③-5:P9)を参照
- 文化財防災啓発事業(評価軸③-6:P10)を参照

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

③-5：指定文化財管理事業：P9



③-6：文化財防災啓発事業：P10



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
文化財の継承の仕組みに関する事項		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 文化財への関心と理解を高めたいため、子どもから高齢者まで、それぞれの関心や状況等に応じた文化財の啓発や学習・体験機会の確保に努める。  
 さらに、指定文化財または国登録文化財ではないものの中から、市民自らが価値や魅力を再認識して、残したい歴史文化資源として登録する(仮称)尾道市歴史文化資源市民登録制度の創設に取り組む。また、歴史文化資源が市民によって大切にされ、生かされ、次代に伝えていけるよう、市民や関係団体と協働しながら、啓発や情報提供、保存・活用の活動支援に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 史跡等総合活用支援推進事業(評価軸③-24:P28)を参照
- 文化財愛護少年団事業(評価軸③-25:P29)を参照
- 文化財講座開催事業(評価軸③-26:P30)を参照
- 登録有形文化財推進事業
- 民俗芸能等支援事業(評価軸③-27:P31)を参照
- 尾道歴史文化読本作成事業(評価軸③-28:P32)を参照

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

③-24：史跡等総合活用支援推進事業：P28



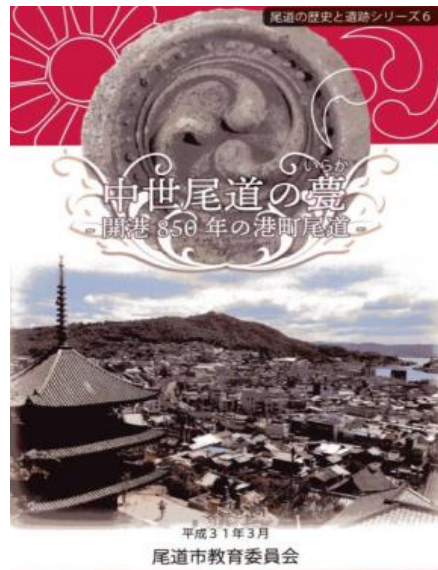
③-27：民俗芸能等支援事業：P31



③-25：文化財愛護少年団事業：P29



③-28：尾道歴史文化読本作成事業：P32



③-26：文化財講座開催事業：P30





評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
文化財の活用に関する事項		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

文化財の保存・活用及び文化財を生かしたまちづくり等に関わる組織の設立や育成と支援を行うとともに、それらが連携し、協働による事業等を企画・推進する体制づくりに努める。また、組織への市民等の参加を促進するとともに、担い手の育成支援に努める。  
文化財と市民をつなぐ体制づくりが必要であり、市民参加型の様々な事業の実施を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財めぐり事業(評価軸③-29:P33)を参照
- 近代化遺産活用事業(評価軸③-30:P34)を参照
- 文化施設ネットワーク事業(評価軸③-31:P35)を参照

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

③-29：文化財めぐり事業：P33



③-31：文化施設ネットワーク事業：P35



③-30：近代化遺産活用事業：P34





項目	評価対象年度	平成30年度
----	--------	--------

他都市等の行政視察、調査等の受け入れに対する取組

計画に記載している内容 記載なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴まち計画の認定を受けたことにより、各都市からの視察や調査が増えた。

>平成30年度の視察対応 4団体

平成30年8月9日:福岡県宗像市【視察受け入れ】

平成31年2月15日:愛知県半田市【視察受け入れ】

平成30年11月13日:岐阜県中津川市【視察受け入れ】

平成31年2月6日:栃木県那須塩原市【視察受け入れ】

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

平成31年2月15日 愛知県半田市〔説明用資料:パワーポイント〕

尾道市歴史的風致維持向上計画



4 歴史的風致維持向上計画



4-2重点区域



4-5整備事例

■実施状況(道路美装化)



観光客(総数・外国人)数の推移

計画に記載している内容 記載なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的なまちなみや瀬戸内しまなみ海道のサイクリングなど多様な魅力によって、特に外国人観光客が増加している。  
 >平成23年(認定前)約4万人⇒平成24年(認定後)約6.7万人⇒平成29年約28.6万人(数値はいずれも推計)

「歴史的風致活用国際観光支援事業」等の支援を受け、引き続き、外国人旅行者の受け入れ体制の整備を行う。

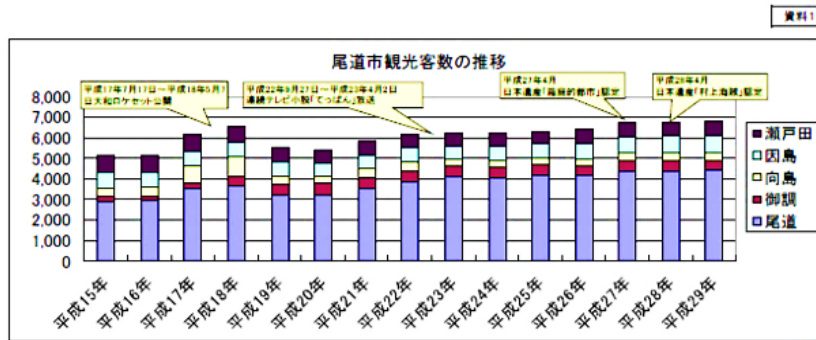
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	
外国人観光客数	25,317	31,328	37,611	40,100	66,818	93,444	131,646	214,045	270,459	286,439	(人)
総観光客数	5,420,840	5,849,334	6,180,380	6,223,250	6,229,438	6,330,466	6,411,529	6,746,966	6,749,030	6,800,612	(人)



資料1  
御袖天満宮からのまちなみ



	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
尾道	2,917	2,966	3,561	3,862	3,216	3,220	3,531	3,867	4,096	4,041	4,178	4,164	4,366	4,407	4,448
御調	270	221	249	489	524	553	557	544	510	529	503	492	555	509	467
向島	377	401	843	960	387	364	395	417	371	349	339	332	350	352	362
因島	747	722	685	676	677	620	677	679	841	895	687	723	755	815	810
瀬戸田	865	869	812	764	718	664	659	673	606	618	623	700	720	669	718
合計	5,176	5,179	6,150	6,551	5,522	5,421	5,849	6,180	6,223	6,229	6,330	6,411	6,746	6,749	6,801
前年比	100.06%	100.08%	118.75%	106.52%	84.29%	98.17%	107.90%	105.66%	100.70%	100.10%	101.52%	101.28%	105.23%	100.03%	100.76%

しまなみ海道サイクリング



2. 外国人観光客数(推計)

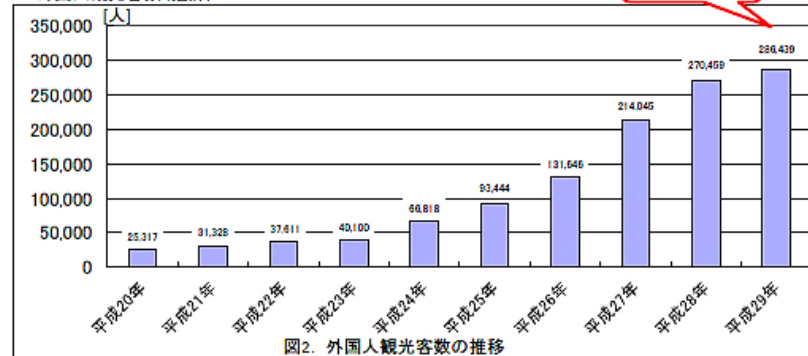


図2. 外国人観光客数の推移

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
外国人	25,317	31,328	37,611	40,100	66,818	93,444	131,646	214,045	270,459	286,439
前年比		123.7%	120.1%	106.6%	166.6%	139.8%	140.9%	162.6%	126.4%	105.9%

評価対象年度 平成30年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議の名称: 令和元年度第1回尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時

令和元年5月23日(木)14時～ 尾道市役所3階 第1・2会議室

(コメントの概要)

- ① 多国語音声設備システムは、利用者の声を把握する手段をもっていないのであれば、把握する方法を検討されてみてはどうか。
- ② この計画の実施により、外国人観光客が増加していて評価できるが、歴史的風致に影響を及ぼすようなオーバーツーリズムの状況にならないよう注視していく必要がある。

令和元年度第1回尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催状況 (R元.5.23)



(今後の対応方針)

- ① 現在のシステムは、利用状況の履歴等を記録・確認することができないものになっている。利用者の声を把握する方法が他にないか、研究していきたい。
- ② 現在、地域住民等から、そのようなオーバーツーリズムの状況になって困っているという苦情は受けていないが、事業を実施・評価する上においては、その点に留意して進めていきたい。